

大阪市立科学館×大阪市中央公会堂「99年目のアインシュタイン」実施報告

西野 藍子*¹, 上羽 貴大*²

概要

2021年は天才物理学者アルベルト・アインシュタインがノーベル物理学賞を受賞して100年となる記念の年であり、2022年はアインシュタイン来日100周年でもある。アインシュタインは1922年12月11日、大阪を訪れ、大阪市中央公会堂で講演を行っている。これらを記念し、99年後となる2021年の同日、大阪市中央公会堂にて、アインシュタインの相対性理論や宇宙に関する最新研究を紹介する講演及びアインシュタインゆかりの音楽コンサートを組み合わせたスペシャルイベント「99年目のアインシュタイン」を開催した。本稿では、本イベントの実施内容について報告する。

1. はじめに

1922年に来日したアインシュタインは、日本各地で講演しながら、時にヴァイオリンやピアノの演奏を披露するほど音楽好きであり、モーツァルトやバッハなどの楽曲を好んでいたことが知られている。そこで筆者らは大阪市中央公会堂との共催で、最新の宇宙研究に関する講演会とともに、アインシュタインが愛した名曲を生演奏でお楽しみいただくスペシャルイベント「99年目のアインシュタイン」を企画し、開催した。

2. 概要

本スペシャルイベントの開催にあたり、最新の宇宙研究に関する講演には、相対性理論や宇宙論を専門とされている大阪工業大学の真貝寿明教授に依頼した。また演奏は、本業の傍らオーケストラや室内楽などで精力的に活動する5名の音楽家たちをお願いした。このスペシャルイベントの実施要項を以下に示す。

タイトル: 大阪市立科学館×大阪市中央公会堂
「99年目のアインシュタイン」

日時: 2021年12月11日(土) 14:00~16:30

場所: 大阪市中央公会堂 中集会室

対象: どなたでも(おもに大人向け)

料金: 1,500円(全席自由席)

定員: 150名(事前申し込み制・先着順)

チケット: 「大阪市生涯学習情報提供システム

いちょうネット」にて11月14日(日)より
受付開始。

主催: 大阪市中央公会堂指定管理者

サントリーパブリシティサービスグループ

共催: 大阪市、大阪市立科学館

出演者:

司会: 西野藍子(大阪市立科学館学芸員)、

上羽貴大(大阪市立科学館学芸員)

講演: 真貝寿明(大阪工業大学教授)、西野藍子

演奏: 高野能成(ヴァイオリン)、近藤綾(ヴァイオリン)、

鈴木菜の花(ヴィオラ)、金子享平(チェロ)、

松永修(ピアノ)



図1. イベントチラシ(大阪市中央公会堂制作)

大阪市立科学館 学芸員

*¹ nishino@sci-museum.jp

*² ueba@sci-museum.jp

当日は、午前中にミーティングやリハーサルなどを行い、本番を迎えた。

以下に当日のスケジュールを示す。

表1. 当日のスケジュール

時間	内容
9:30	スタッフ全体ミーティング
10:00	出演者入り、 ピアノ設置完了後リハーサル
11:00	講演会用に舞台転換
11:45	真貝先生リハーサル(マイク、映像確認)
12:05	西野リハーサル(マイク、映像確認)
12:45	スタッフスタンバイ
13:00	受付開始
13:15	開場
14:00	開演、西野・上羽挨拶
14:05	第一部: 講演会 講演「アインシュタインと大阪・中之島」 (西野)
14:20	特別講演「100歳を超えた相対性理論」 (大阪工業大学 真貝教授)
15:00	休憩(25分間)
15:25	第二部: 演奏会 (司会: 上羽)
16:30	終演

3. 当日のようす

本スペシャルイベントの参加者は計 127 名であった。当日のようすを以下(1)~(3)に写真とともに記す。

(1)開演、第一部: 講演会

筆者らが開演の挨拶を行い、その後西野より「アインシュタインと大阪・中之島」と題し、アインシュタインが来日した大正時代の日本、特に大阪・中之島での様子を中心に 15 分ほど講演を行った。



写真1. 講演「アインシュタインと大阪・中之島」(西野)

(2)特別講演

続いて大阪工業大学の真貝寿明教授より、「100歳を超えた相対性理論」と題し、ご講演いただいた。



写真2. 講演「100歳を超えた相対性理論」の様子



写真3. 講演される真貝教授

19世紀末、すでに「物理学は完成した」と考えられていた。しかし、のちに「奇跡の年」といわれる 1905 年、アインシュタインが特殊相対性理論などを発表して以降に新たな物理学が拓けていった、と真貝教授は語る。そして相対性理論から 100 年以上が経った今、科学技術の発展とともに観測機器の性能も向上したことで、この理論を裏付ける様々な観測成果が出てきた。ここでは、最新の重力波観測について紹介があった。さらに現代では、重力場の理論と量子場の理論を一つにまとめる究極の理論を完成させる研究が行われていることも紹介された。

(3)第二部: 演奏会

25 分間の休憩(その間、演奏会用へ舞台転換)をはさみ、第二部の演奏会を行った。上羽が司会を担当。



写真 4. 第二部：演奏会 開始の挨拶



写真 6. 「ピアノ三重奏曲 第 1 番」の演奏

演奏いただいた楽曲を以下に示す。

表 2. 演奏曲一覧

曲目	作曲者	編成 ^(※)
アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第 1 楽章	W.A モーツァルト	VnI. VnII. Vla. Vc.
アリア	J.S. バッハ	
主よ、人の望みの喜びよ		
ピアノ三重奏曲 第 1 番 第 1 楽章	L.v. ベートーヴェン	Vn. Vc. Pf.
ヴァイオリンソナタ イ長調 第 1 楽章	F.P. シューベルト	Vn. Pf.
ピアノ協奏曲 第 13 番 第 1 楽章	W.A モーツァルト	VnI. VnII. Vla. Vc. Pf.
(アンコール) ユモレスク五重奏版	A.ドヴォルザーク	VnI. VnII. Vla. Vc. Pf.

(※)Vn.ヴァイオリン、Vla.ヴィオラ、Vc.チェロ、Pf.ピアノ



写真 7. 「ヴァイオリンソナタ イ長調」の演奏

演奏の合間には、アインシュタインと音楽とのかかわりについて、上羽が紹介した。例えば、アインシュタインは幼少の頃にピアノをたしなむ母より音楽の手ほどきを受けたこと、アインシュタインはピアノでは即興演奏を楽しんだこと、そして日本初の国産バイオリンの工房・鈴木バイオリンが、アインシュタインにバイオリンを進呈し、アインシュタインはそれを大変褒めた記録があること、などである。



写真 5. 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の演奏



写真 8. 演奏の合間、鈴木バイオリンを紹介(上羽)



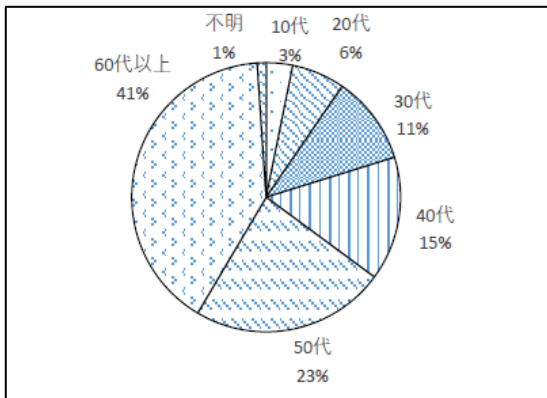
写真 9. 「ピアノ協奏曲 第 13 番」の演奏

4. アンケート集計

当日の参加者 127 名にアンケートへのご協力をお願いした。その結果 94 名の方にご回答いただき、回収率は 74%となった。アンケート集計結果をいくつか抜粋して以下(1)~(4)に示す。

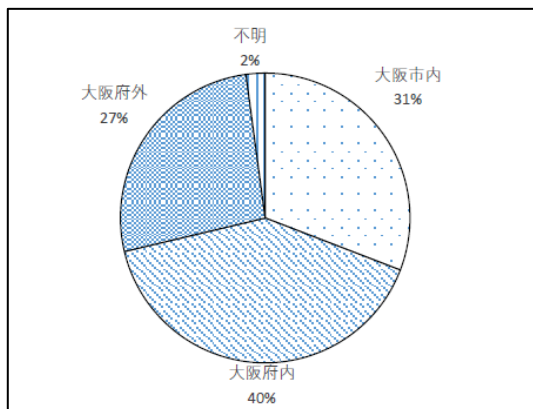
(1)年代

60 代以上が 40%以上と最も多く、続いて 50 代、40代が多かった。



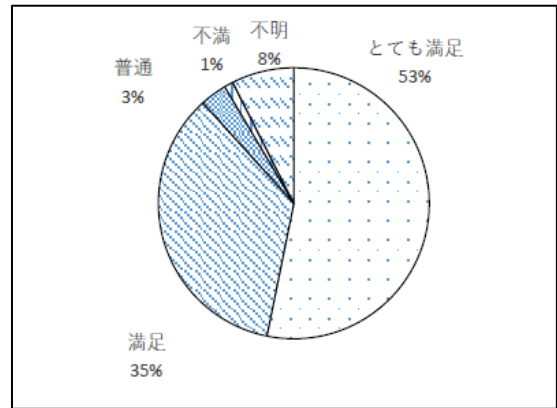
(2)お住まい

大阪市内を含め大阪府内が 70%となり、大阪府外は 30%ほどにとどまった。



(3)満足度

“とても満足”と“満足”を合わせると 90%近くなり、多くの方にご満足いただけたようである。



(4)感想について

中央公会堂スタッフによると、普段の客層との違いをなんとなく感じた、という。科学ファンが多く来場されたものと思われる。実際、講演の内容、コンサートについて、それぞれに非常に好意的なものが多かった。そして、コンサートを目的として来館したが、講演も楽しむことができた、という感想もあった。本イベントは、音楽のファンには最先端の天文学への導入に、また科学ファンには音楽への導入にと、異文化交流のようなイベントを目指し企画したものであるので、まさに筆者らの狙いが達成されたものと感じている。

5. おわりに

今回、初めて大阪市中心公会堂とともにスペシャルイベントを企画し開催させていただいた。中集会室は生演奏の音色がとても美しく響き、非常に満足度の高い演奏会になったと考える。また、真貝先生に宇宙の最新の研究についてご講演いただき、演奏会とともに最新の科学にも触れていただく良い機会にできたのではないかと考えている。また来年のアインシュタイン来日 100 周年に向け、同じようなイベントを開催したい。